

立川病院の無痛分娩について

無痛分娩とは、陣痛時に麻酔薬を使用し、陣痛の痛みを和らげながら分娩する方法です。

当院では、背中からカテーテルを挿入し、麻酔薬を注入する硬膜外麻酔を用います。

母児の安全性を最優先に考え、麻酔科医による麻酔導入、誘発剤により陣痛を起こす計画分娩での対応となります。

*分娩時・陣痛の疼痛緩和を行うことで、産婦ご自身の満足度の高い分娩と産後の早期回復を図ります。

*疼痛を和らげることで、恐怖や緊張が軽減します。それにより、カテコラミンの過剰分泌、過換気が抑制でき、胎盤血流を良好に保ち、児への負担も軽減します。

*疼痛を和らげることで、体力温存に繋がります。

当院での無痛分娩対象者

- ① 無痛分娩を希望している経産婦
- ② 無痛分娩の禁忌に該当しない方（禁忌：血液凝固障害、重症の妊娠高血圧症候群、穿刺部位感染、重症大動脈弁狭窄症・閉塞性肥大型心筋症等の心疾患、神経筋疾患）
- ③ 妊娠 34～35 週の健診で BMI が 30 以下、分娩時の BMI が 35 以下の方
- ④ 日本語でコミュニケーションがとれる方
- ⑤ 当院での無痛分娩に関する説明を受け、同意された方

費用

10万円

東京都無痛分娩費用助成事業の対象医療機関となった場合、要件を満たす方はうち最大 10 万円が助成対象となります。

BMI 高値加算：2 万円（BMI が 30～34.9 の方）

無痛分娩 申し込み方法と流れ

ご希望の方は、33～34 週までに当院の医師に直接お申し出ください。

34～36 週頃に、無痛分娩説明・麻酔科外来の受診・必要な検査を行います。

注意事項

- ・無痛分娩は完全に痛みが無くなることではありません。
- ・無痛分娩の受け入れ枠を超える場合、ご希望に添えない場合があります。
- ・無痛分娩を希望されていても、経過により、医師の判断で中止となる場合があります。
- ・無痛分娩予定前に、破水、陣痛など起こってしまった場合は、無痛分娩は行えません。

当院は「無痛分娩取扱施設のための無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」に基づく自主点検表の項目を全て満たしています。

※無痛分娩に関する質問やご不明点は、妊婦健診時に担当医師へお尋ねください。

2025 年 12 月

国家公務員共済組合連合会 立川病院 産婦人科外来・8S 病棟